

喜・怒・哀・楽・そして未来へ

大ホール

27日 13:30 ~ 15:30

構成・演出：ツルサンズカンパニー
面 制作：伊藤 亘 (美術家協会)

芸術祭の全体テーマ「心が象になるとき」
それは紛れもない人間の内なる『喜怒哀楽』のほとばしりである

オープニング ^{ことば} 寿ぎの鼓動 「宇治川太鼓」 演奏：水栄太鼓

子どもが無心にたたく太鼓で開幕する舞台は、異なる楽器の持つ色合いと、伊藤 亘氏
入魂の作である『面』の表情の変化によって、各場面へといざなわれていきます

喜びへのいざない 「子供のための組曲」 合奏：狭山市三曲連盟

喜び 「君が代松竹梅」 舞：狭山市日本舞踊連盟

衣装をまとい 絢爛豪華な中にも格調高くしなやかに舞う喜びの世界

喜びから怒りへのいざない 琵琶演奏：狭山市吟詠連盟

怒り 「御神乗太鼓」 ^{ごじんじょ} 演奏：水栄太鼓

庶民を救うために 神が 悪を絶つ憤怒の化身として

舞台一杯に怒りの響きを轟かせます



怒りから哀しみへのいざない 三絃・胡弓演奏：狭山市三曲連盟

哀しみ 「源平盛衰記」 吟：狭山市吟詠連盟

義経・静御前・そして平家の末路...

切々とした吟が 無常を綴ります

哀しみから楽しみへのいざない 尺八演奏：狭山市三曲連盟 篠笛演奏：狭山市祭囃子連合会

楽しみ 「寿ぎの四季」「花の日本総踊り」 踊り：狭山市新舞踊連盟

着装実演：うるおいきもの文化普及会

限りある命だからこそ人は花を愛で、四季を寿ぐのかもしれない

華やいだ群舞は 人が求めてやまない くったくの無い楽しさに酔いしれます

エンディングへのいざない 「童夢」 合奏：狭山市三曲連盟

まどろみの中 無邪気に遊んだ子どもの頃の世界が広がる

夢と覚醒を行きつ戻りつし やがて歓喜へ



エンディング そして未来へ

「すべての人の心に花を」 合唱：狭山少年少女合唱団、さやま・川の街合唱団

明るい歌声が 喜怒哀楽すべてをしなやかに包みこみ 大輪の花を咲かせます

それは 限りない未来につながる 人々の輪となって.....